

鹿児島県水土里情報システム活用事例

家畜防疫管理システムを活用した事例を紹介します。

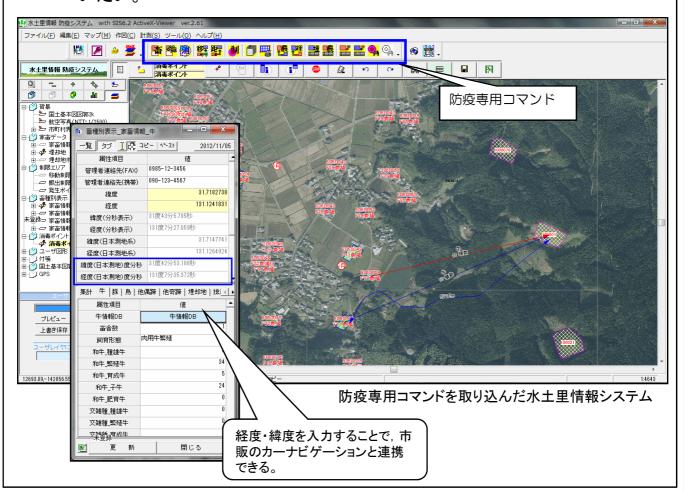
(1/2)

活用する団体: 市町村

取組概要

内容:市町村に於いて,家畜防疫対策に必要な情報を整備するに当たり,位置情報が必要となる。その情報は発生時の初動時に迅速な対策を実施するため地図情報システムで構築することが必要である。また,農地の情報や航空写真画像等を重ね合わせることにより効率的な対策をすることが可能である。

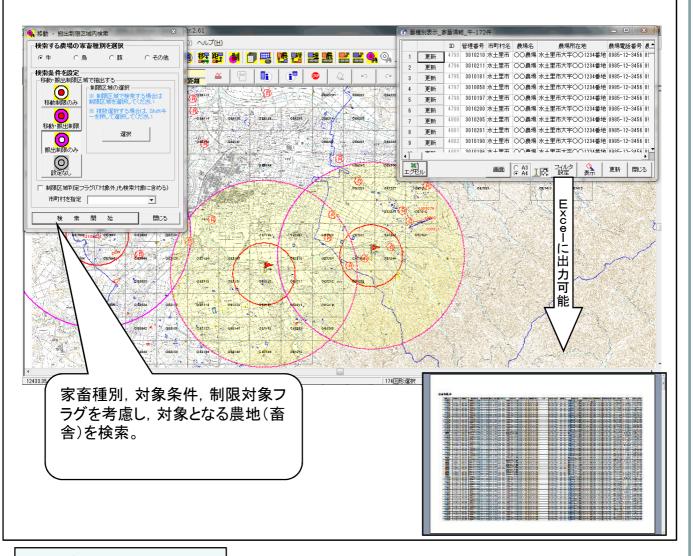
経緯:「口蹄疫」などの家畜感染症が発生した場合に、緊急性を必要とする業務に対し、家畜の殺処分や埋却・消毒、移動制限区域の把握をすばやく行いたい。





期待される効果

- ①作図機能に位置情報(緯度・経度)が管理されるため、市販のカーナビゲーションと連携することが可能。
- ②発生地点から、「移動制限」「搬出制限」の距離を入力すると、視覚的に地図上に同心円が作成されることで、移動・搬出制限の対象農地(畜舎)状況が把握しやすくなった。



今後の活用予定

平常時は、家畜管理として定期的確認や報告に活用し、発生時は、まん延防止対策として制限区域と消毒ポイント設置、埋却地の管理など迅速な対応に活用する予定。

